

遊水地等の治水対策により 浸水被害が1万戸から6戸へ



鶴見川多目的遊水地(神奈川県)

鶴見川は都市化が急激に進展し、
これまでしばしば浸水被害が発生

鶴見川流域では流域一体となった
治水対策を推進

昭和33年

市街地率：約10%
人口：約45万人



昭和50年

市街地率：約60%
人口：約120万人



平成15年

市街地率：約85%
人口：約188万人



総合治水対策



鶴見川多目的遊水地等の治水対策により浸水被害が1万戸から6戸へ



鶴見川多目的遊水地は、平常時には公園等として利用



平成26年台風18号では、
鶴見川多目的遊水地で154万³m³
(過去最大)を貯留

鶴見川の水位が上昇し、越流堤から鶴見川多目的遊水地に流入

